

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	白男川 尚・石岡 和志	開講期	2年前期	単位数	1

【授業の主題】

ソーシャルワークでは、ソーシャルワーカー自身が、援助者として利用者の問題解決を図るための道具として活用される側面がある。そのためソーシャルワーカーは、利用者をより深く理解することに加えて、援助者として関わる自分自身についての理解も求められる。そこで本演習では、ソーシャルワーカーとして自己覚知を行うと共に、基本的なコミュニケーション技術や面接技術を体験的に学ぶ。

【到達目標】

本演習では、自己覚知と利用者理解について習得し、また、相談援助実習を行う際に必要となる基本的な面接技術を身につけることを最終到達目標とする。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーションとグループ決め
- 第 2回 基本的なコミュニケーション技術の習得体験学習
- 第 3回 自己覚知①個人作業自分自身のことに・ついて考え、記録用紙に記入する
- 第 4回 自己覚知②上記の結果に・ついてグループ討論
- 第 5回 価値観と他者理解
- 第 6回 聴くことと話すこと
- 第 7回 面接技術①（姿勢・態度・距離）
- 第 8回 面接技術②（視線・表情・反応）
- 第 9回 模擬面接のロールプレイ①
- 第 10回 模擬面接のロールプレイ②
- 第 11回 ジェノグラム・エコマップの記入法
- 第 12回 観察と記録
- 第 13回 ソーシャルワーカーの倫理とディレンマ
- 第 14回 苦情解決の対応法
- 第 15回 演習のまとめ～学習成果の振り返り～

【授業実施方法】 基本的には演習形式で行う。

【授業準備】 演習内容を踏まえ復習を中心に行うこと。

【主な関連する科目】 「ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅵ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」

【教科書等】 日本社会福祉士養成校協会「社会福祉士相談援助演習」中央法規出版

【参考文献】 その都度紹介する。

【成績評価方法】 課題提出 20%、授業態度・出席状況 80%より総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

演習による科目のため必ず出席すること。また、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。